

広報

まっだい

1986/

8月

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和61年8月28日

第321号



納涼

盆おどり

《人口の動き》 男2,919(-15) 女2,951(-7) 計5,870(-22) 世帯数1,648(-10)
 8月1日現在 出生3 死亡7 転入4 転出22



「明日を拓く自然と人のふれあいの町」

「松代町総合計画、改訂終わる」

町の木 プナ

(2) 産業の振興

つづき

3 商業

交通条件の改善、情報化の進展、流通構造の変化などに伴い、商圏の広域化が進んでいるのが現実である。町の商業も伝統的な商法を守りつつ体質改善を図り、時代の変化に即応していかなければならない。

町の商業にとって最大の脅威は人口減であり、そこに起因する販売高の鈍化は避けられない現況である。一方では、従来自給自足を前提にしていた農家も近年野菜類まで購入に頼るといった傾向も強く、生鮮食料品は移動販売車から求めるといった消費傾向にある。また、高級衣類は近隣都市から、と多様化する消費者心理をどうとらえていくかも検討課題となろう。また町商工会とともに近代的商業経営の指導を図りながら生業としての商業の発展を推進していく。

4 工業

関越高速自動車道の全面開通上越新幹線の開通、国道の改良等、交通体系の整備によって、関東圏との時間的距離の短縮が実現し、工業立地条件も一段と高くなった。

農業構造に伴う余剰労働力の吸収と若者の定住を図るために、適正規模の公害を伴わない工業を積極的に誘致する必要がある。



5 地域開発と観光

所得水準の向上、労働週日制の普及、関越自動車道の全面開通、上越新幹線など高速交通網の発達により、観光需要はますます高まるものと予想される。都市生活者が自然と憩いの場を求めて農村を訪れる傾向はしだいに強まり、彼らを迎え入れる施設設備も新たな課題となろう。

観光の形態は温泉地観光とふるさと観光に二極分化が進んでおり、当町としては農業を中心

にすえたふるさと観光も可能であらう。

例えば農作業お手伝いツアーというようなものを企画し、農作業に参加した方とのふれあいの中から会費制のふるさと会員制を作り、季節の産物を送るなどして農産物の付加価値を高めるとともに農業の振興をもすすめていく。

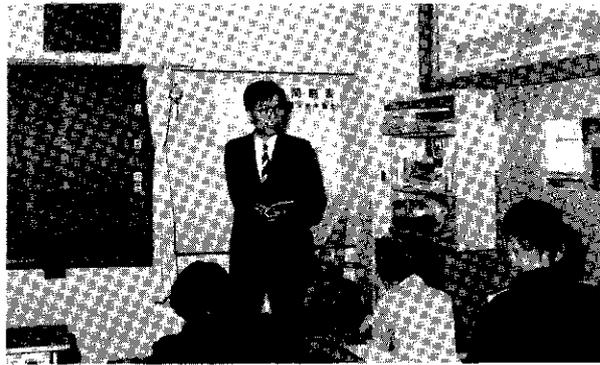
(3) 教育文化の振興

1 学校教育

健康で人間性に富み、積極的創造的にものごとをなすとげる児童・生徒を目標に教育課程に創意と工夫をこらし、これに即応する条件整備をすすめていく。小規模化の著しい昨今において教育の実をあげるため地域の実情を十分考慮し、道路の整備とあいまって統廃合を含めた小学校の再編整備に引き続き取り組みなければならぬ。それによって狭隘な屋外体育館の解消グラウンドの拡張等施設の整備を促進する。

教育の主体は教師である。町出身教員の少ない当町においては、優秀な教員の確保のため教員住宅の整備等受入体制の充実につとめなければならない。小学校の大半は複式学級で、

しかも極小人数であるため、集団学習や集団行動を体得させることにより、経験・視野の拡大を図り集団適応能力を育成しなければならぬ。これがため、合同学習や隣接校との集合指導を一層促進する。また、恵まれた自然、古米からの風俗文化を教材にしたり、気候風土を生かした教育期を設定したりする努力を積み重ねなければならぬ。



2 社会教育

生涯教育の立場から「いつでも、だれでも、どこでも」学べる体制づくりに努めなければならない。

組織的に行い、しかも学習者の自主性、積極性を持続させる

よう努める。

高齢者の学習内容と方法を組織化したり、町を活力あるものにするために、青年層、壮年層の盛んな活動を促したりする必要がある。多忙な中にも学習することによって、信頼感、連帯感を高めながら、よりよい町づくりの組織化を進めなければならない。

このため指導者の確保が必要で、リーダーの発掘とその養成に努めなければならない。また学習の拠点となる施設整備にも引き続き計画的な推進を図る。

3 文化活動

現在青年による地域文化活動が盛んに行われており、神楽、太鼓などの民俗芸能を引き継ぐ青年たちの活動は貴重なものである。その育成を図るとともにこれを町で集約し、将来は町のイベントの一つとして行えるようになれば、貴重な観光資源となりうるものである。

この実現と合わせ、中央の文化芸術の吸収の場として、スポーツプラズアルファ的な施設では高度な音響効果、舞台テクニクが期待できないので、文化会館の専用施設も必要となる。

埋れた文化財の発掘にも努めるとともに、文化財保護審議会の協力を得ながら、その保護と伝承に努めていく。さらにこれを郷土資料館に保存しつつ一般に展示し、郷土の歴史的、民俗的な文化遺産を大切に作る気風を育てていく。

4 今後の教育の方向

都会の大規模校では教育に限界があり、児童生徒の個性が失われるとともに、そこからはみ出す児童生徒もいる。

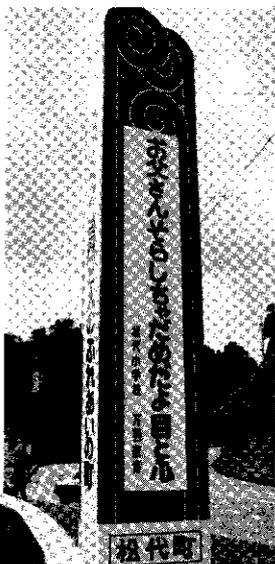
今後の教育の方向は野外学習、自然観察、勤労学習等に視野が向けられるだろう。当町の自然と人間性は、このような学習の場としての適地である。

国内留学という形で都会の児童生徒を呼び寄せ、町内から里親を募り長期にわたり当町の生徒とともに学習し、小規模校の利点を生かして、生徒の個性を伸ばすとともに、恵まれた自然の中で豊かな人間性が培われる。複式の解消と親同志の交流も図られ、更には卒業後に当町に残るといった形も出てくるかもしれない。

また、都会の青年団や若人の組織活動、研修の場として野外研修センター、サバイバルキャンプ場等の整備を図っていく。

池尻交差点に 新しい顔

池尻交差点の交通安全広告塔が新しい顔でお目見えしました。デザインと設計は若井明夫さんで、山菜の「ぜんまい」を形どったものです。標語は一般者の応募の中から、池尻の関谷フミ子さん、松代小学校の万羽康博君の作品を採用させていただきました。



心の交流二十年

ぶな林に囲まれた菅刈分校。

当校には大変すばらしい宝がありますのでご紹介いたします。

宝といっても物ではありません。文通二十年という心の交流です。当校と文通して下さっているのは、間瀬泰代さんという愛知県春日井市の方です。

一口に二十年といいますが、最初に文通を始めた子どもたちは、もう26才、32才になっています。それほど長い年月分校と交流し続けて下さっている間瀬さんには本当に頭が下がります。さらに、間瀬さんは少数数の子どもたちの図書をも気遣って下さり、これもまた毎月、毎月二十一年間にわたりお金をご寄付くださっています。

間瀬さんは、菅刈分校の出身者でもなければ、松代町の出身者でもありません。

今からちょうど二十年前、昭和四十一年七月二十四日の朝日新聞に、当時分校主任だった曾根先生が書かれた「辺地からのたより」という記事が掲載されました。それを読まれた間瀬さんから一通の手紙が分校に届いたのです。

以下お手紙より

「――(前略)記事を読み、先生の学校を知りました。私は元来子どもが好きで、大学を卒業しましたら養護施設の保母になりたいと思っておりましたが、体があまり丈夫でないという理由で断念いたしました。けれども、子どもについては常に関心を持ち続け、何か子どもたちにしてあげたいという気持ちを持ち続けておりました。(中略)都会に住む私達は時々素朴で純粋な心の持主に語りかけたくありません。自分が失いかけているものを求めるのでございます。うか。先生、菅刈分校の子どもたち、私とお友だちになっただけでいいでしょうか。」

(後略)――
この一通のありがたなお手紙から、二十年にもわたる交流が始まったのです。そして現在までに二百四十余通になり、子どもたちにとつては、見知らぬ愛知県を知る手がかりとなったり、手紙の書き方等、生きた勉強になっていきます。また、何よりも心のつながりのすばらしさを感じさせる場にもなっています。

また、間瀬さんよりご寄付いただいた本は、二百五十冊を数えていて、本の少ない分校にとつて、子どもにとつて本当に宝物となっています。現在では、この本を利用して、毎月一回読書感想文の発表会をしています。

その間瀬泰代さん御一家に、今回運動会の折に来ていただくことができました。これは、子どもたちにとつて、菅刈・田沢両部落にとつても大きな、そしてうれしい出来事でした。

八月十六日 到着日

子どもたちは、夜七時の到着予定にもかかわらず、朝から分校に集う。

午後七時、間瀬さん一家到着

分校児童とその父母、感激の対面。

七時二十分 歓迎会①

音楽室で、児童から歓迎の合唱、合奏

七時五十分 歓迎会②(夕食会)

間瀬さん一家とプレゼントの交換をする。子どもたちからの手作りのプレゼント、分校のニワトリが生んだ卵に喜ばれる。まるで旧知のような、なごやかな雰囲気包まれる。

八月十七日 運動会当日

間瀬さん一家がいらしたという事で、例年にならない参加人数

午前九時 感謝状贈呈式



感謝状の贈呈、子どもたちからの呼びかけ形式のお礼の言葉などがあり、感激される。

午前九時半、運動会開始

間瀬さん一家も紅白に分かれ子どもたち、部落の人たちと各種競技に参加し、交流する。間瀬さんが出ると応援の声がひととき大きくなった。



午後三時、運動会反省会

分校の先輩や、その父母が間瀬さんと対面する。

子どもたちは、間瀬さんの娘さんたちと遊ぶ。

午後五時半

参加者全員でアーチをつくり間瀬さんたちをおくる。万才の声がこだまし、子どもたち、間瀬さんの「さよなら」の涙声がいっまでも続いた。

二日間という短かい日程ではあったが、間瀬さん一家の来校は、子どもたちにとつて忘れることのできないすばらしい思い出となりました。

また、今回のことが二十一年間という長きにわたり分校をはげまし続けて下さった間瀬さんへの何分の一かの恩返しになればと思います。

全員で「ションガイヤ」を踊る



婦人の健康づくり事業をふりかえって

大島保健所 保健婦 上野 春代

町の婦人の貧血をなくし、家族の積極的な健康増進をはかるために取りくんできた婦人の健康づくり事業も、四年になりました。十八才から三九才以下の婦人の健診(貧血検査)、食生活アンケート調査、貧血教室等を実施してきましたが、一人一人の自覚と地域の食推さんの熱心な努力によって、成果が着実にあがり改善されてきてもう一息という所までになりました。

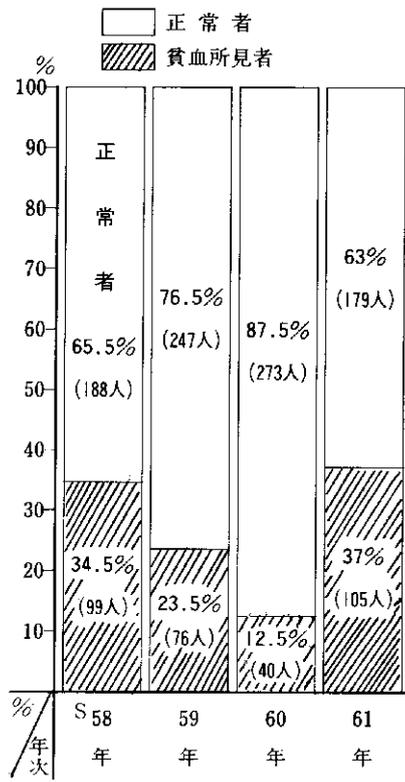
左の表は、四年間の貧血所見者の割合です。

初年度の五八年から五九年、六十年と減少し、県の平均値なりに改善してきたのですが、今年七月中旬に行われた健診では、初年度の五八年を下まわる意外な結果がでました。今年の結果では、受診者二八四人中、貧血所見者一〇五人で三七%、と過去最高の割合になりました。

また、部落別に見ると、会沢八三%、蕨平七一%、蓬平六六%、太平五十%、千年四三%、松代四十%、大伏三八%、

また、町で実施してきた貧血教室への出席者は毎年非常に少ないのですが、教室できちんと学ばれた方は着実に改善されています。貧血は、御存知のとおり食事、労働、睡眠(休養)といった日常生活に大きな影響を受けるため、働きざかりの婦人層や、妊娠、出産、子育て中の年令層に多く貧血者がみられるのもうなずける点ですが、初めて貧血といわれた人の割合は少く、毎年貧血といわれる人、又

数年前に貧血といわれた事のある人が、比較的多かったように思いました。血液の中で、もともと貧血に関係の深い赤血球の寿命は、一二〇日といわれています。からだの中で常に作られ、こわされていく血液ですから、一日一日が大切なのです。貧血といわれたその時だけの注意や治療では、改善されません。現在、町の多くの婦人層の方が勤めをもつようになってきました。家事、勤め、農業と日常の労働がかなり負担になってきています。忙しいといつて食事の手ぬきをしていませんか。過去三カ年の結果、出稼ぎ世帯により貧血の主婦が多かった例もあります。一人だから、子供がいらないから、夫が出稼ぎで留守だからといって食事をそまつにしないで下さい。片よりなくバランスのとれた食事をするために、一日三十種類の食品を食べたいものです。町の平均では二〇〜二五種類の



また、町で実施してきた貧血教室への出席者は毎年非常に少ないのですが、教室できちんと学ばれた方は着実に改善されています。貧血は、御存知のとおり食事、労働、睡眠(休養)といった日常生活に大きな影響を受けるため、働きざかりの婦人層や、妊娠、出産、子育て中の年令層に多く貧血者がみられるのもうなずける点ですが、初めて貧血といわれた人の割合は少く、毎年貧血といわれる人、又

忙しいといつて食事の手ぬきをしていませんか。過去三カ年の結果、出稼ぎ世帯により貧血の主婦が多かった例もあります。一人だから、子供がいらないから、夫が出稼ぎで留守だからといって食事をそまつにしないで下さい。片よりなくバランスのとれた食事をするために、一日三十種類の食品を食べたいものです。町の平均では二〇〜二五種類の

「出稼先がまだ決まってい
ない……」
という方へ
出稼相談会
が開かれます

出稼先の決っていない方々の職業相談会及び愛知県現地選考会が、九月十二日午前九時〜午後三時まで役場で行なわれます。今秋の出稼求人数は非常に少なくなる事が予想されますので、「出稼先未定の方」「求人情報を知りたい方」は是非おいで下さい。

▼会場 新潟市 大和新潟店

▼会期 昭和61年9月25日(木)から30日(火)まで

食品がとられておりもう一歩ですが、中には十種類しか取っていない人もあり、調査の結果それらの中に貧血所見者が多かったようです。食事の内容、バランスと同時に家族そろってゆつくりと楽しく食事をする習慣をつけたいものです。忙しいのは誰でも同じです。要領よく仕事の整理をして、心のゆとりをもつ事がもっとも大切なのではないでしょうか。町民一人一人の力を大きな輪にして、家族の担い手である婦人の健康づくりを發展させていきたいものです。

近年、「村おこし」「一村一品運動」と名付けられた地域活性化のための特産品づくりが全国的に活発化しており、新潟県においても市町村・商工団体・農協等が様々な取り組みを行っています。

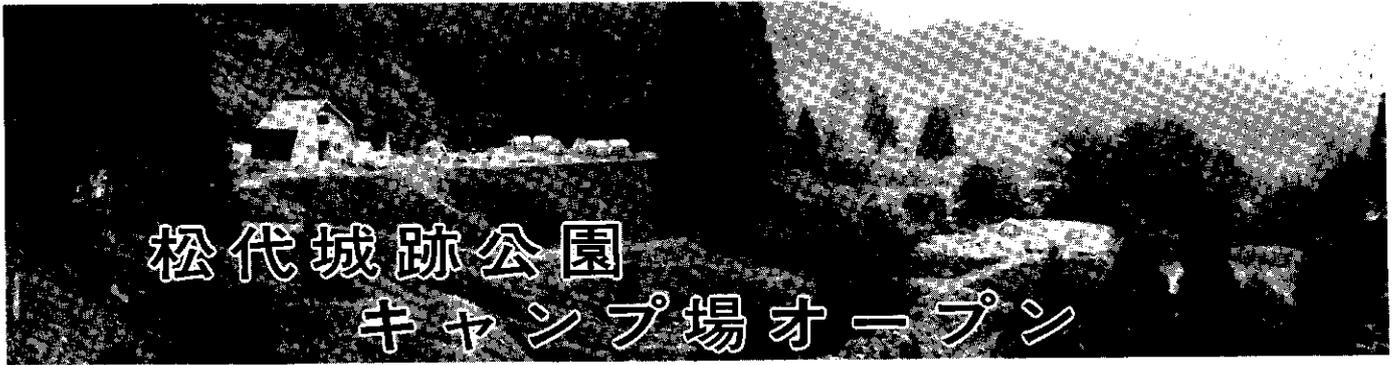
それらの活動を支援し新しい特産品の販路開拓を図るため、県主催で「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」が開催されます。

県内各地域の市町村からバラエティに富んだ特産品が展示即売され、特産品の手づくり実演、特産品プレゼント、郷土芸能の来場など楽しい催しが盛りだくさんに予定されています。また、山村の姿を紹介し山村と都市との交流を図る「にいがたの山村展」も併催されます。

松代町からは(株)松代そば善屋から数種類の出品が予定されており、是非ご来場いただいで、催物の雰囲気味わってください。

▼会場 新潟市 大和新潟店





松代城跡公園 キャンプ場オープン



第一テントサイドで
準備打合せ



第二テントサイドで
夕食準備



「キャンプファイヤー」
♪遠き山に日は
おちて月



「炊事棟」うまく炊けるかな!

建設中のキャンプ場がいよいよオープンし、去る八日に竣工式が行なわれ関係者が立派に出来上ったキャンプ場の竣工を祝いました。

翌日の九日、十日に松代、千年、筋平の三子供会約八十名が使い初めのキャンプに入りました。

第一、第二のテントサイト十五張を使用し、新装の炊事棟で食事の準備をし、屋外での夕食、

夜はキャンプファイヤー、花火大会、映写会など楽しい夜を過ごしました。翌日は早朝より警察署の松永部長さんを講師にお願いし、バードウォッチングを城山歩道で行ない、その後は源太川でまぼろしの「源太金」に挑戦し、参加者全員が探し当てることができました。子供達は楽しい夏休みの思い出ができたことと思います。

このキャンプ場は松代町特有の地形を生かした規模は小さくとも、公園利用の宿泊型、日帰り型キャンプ場とし、園内施設の利用を促す一拠点とするともに、利用者には青少年、とりわけ小中学生中心の利用を考慮し、非日常的体験を自主的に促すようにすることを基本として整備されました。



Vサインもでる楽しい楽しい夕食!!

利用料金

(61年度暫定料金)

施設名	単位	単価	備考
テント	5人用	1張	1,000円
	8人用	//	1,200
テントサイト料	1面	300	
マキ(炊事用)	1束	時価	(ファイヤー用もあり)
毛布(寝袋)	1枚	100	
スノコ	1日	50	

申込み・問合せ

〒942-15
東頸城君松代町
松代町役場産業課
☎(02559)7-2220代

又は
柳 武
☎(02559)7-2541

キャンプ場は今後、当分の間一般の皆様にも張ったままにいたたくためテントも張ったままにしています。ご家族づれで一度利用してみてください。



一、地形地質班の調査

七月三十一日より四日間、調査に入ったこの班は、浜海川水系の主として河床の貝化石の調査と、地形地質について巡検、資料採集を行いました。

第一日目から化石のすばらしいのが田沢、犬伏間の河床から発見され計三十余種の化石は上越教育大生らによって運ばれ、今後自然系合研究室で、諸測定、検査が行われます。中でも、帆立貝(推定二百万年前)化石が(径十四・五cm)二つ並んで巨大なものがあります。

帆立貝は寒流の影響をうける海域のもので、主としてその発生は日本近海だった由。その後全世界に繁殖したが、今日では養殖以外には自然のものは北海道の一部にしか生息しないそうです。

二百万年前、私たちの松代は

海底にあり帆立貝の生息地だったそうです。

ところで、今回の化石調査でわかったことは、寒流の生態系とは別に対馬海流(暖流)の影響を強くうけた貝類の化石も発見されており。

数十万或いは百万年単位ぐらいで、海流のちがいがあつたのだそうですが、今回の資料によつて、火山の爆発や絶え間ない隆起運動のなかで、郷土の大地がどのように形成されたか、これからの探究が行われます。資料の一部は学習院大学の放射線研究室へ送られます。今後、郷土の地下の組成、どんな資源があるか、ないかわかってくることは、大いに興味のある所です。

河岸段丘のことでは海老、東山の高地にすらその姿がみられ、洪海川水系調査でも、いまだに我が台地が隆起途上だということともわかりました。

二、宗教班の活動

宗教史専攻、直江津徳泉寺住職田浪龍之帥に関谷も同行して十日町市、川西町を訪ねました。先に広報にお知らせした遊行上人の足跡、犬伏の松茸神社の関谷伊沢にあつた宝泉寺に関する調査のためです。

幕府から大名級の処遇をうけた遊行上人が何度も松之山街道(十日町―犬伏―松代―蒲生―大島―安塚間)を通行し、時宗の布教をされ、犬伏、松代(泊)蒲生で御札を農民に下されています。

十日町、時宗来迎寺では三十一種の関係古文書を見せさせていただき今後再訪の上コピーを戴くことになりました。

川西町の長福寺では慶長七年(一六〇二)松茸神社や堀久太郎に関する古文書その他が見られました。

この寺は少林寺の本寺でもあります。

洞泉寺の本寺、長安寺にも参り洞泉寺関係の文書を見ました。

なお十日町市山谷の酒井家、小泉の宝泉寺も訪ねましたが、大字芋島阿弥陀堂屋敷との関わりについて今後共調査のメスが入れることでしょう。

三、古代中世班について

上越市文化財調査審議委員、平野団三先生(八二才)には今年何度も足を運んでいただいておりませんが、桐山、清水、会沢、蓬平、孟地、芋島、田ノ倉、蒲生、名平、儀名、峠、濁、竹所、室野の文化財、殊に室町時代―鎌倉時代にさかのぼったものについて調査が進んでおります。

八月二十一―二十二日には松代南部地区ならびに残った伊沢地区、田沢の調査、引きつづいて町内全大字毎の調査が今後行われます。

既に調査の終わった地区では、南北朝時代の墓(板碑)が二基はじめ、会沢小野島(おまえ)家では明德四年(一二九三)の古文書を見せさせていただきました。これは曾って中世文書は、松之山町村山家のものが一番古いとされていますが、小野島家文書によって、最古のものは松代にあることになりました。

大字太平は臺(台)萍と書かれ松代は松平と書かれており、かねて古老たちの話では松代は松平といったのだという話はありませんでしたが、誰も文献上証明できなかつたのが、小野島家文書で立証されました。その意味で

この文書は大変貴重です。この外、立派な十王像、延命地像ならびに、本尊が盗難にあつていますが、上越に一、二といわれる厨子が発見されています。厨子の扉内側には立派な四天王の彫刻をつけ(一部欠)盗難にあつているのが惜しまれます。

個人宅でも、貴重な鉄仏、甲の前立像(小仏(戦国時代)等)が発見され、今後も大事な中世期の文化財が発見される可能性は充分あります。

※ この項では発見された所在を明記しませんが、調査してわかつたことは、少なからず、各地で盗難にあつて居るとです。全町悉皆調査のあと来年は文化庁から再鑑査をうける予定です。関係地区の区長さんはおわかりでしょうが、どうか各區毎に全町の皆さんの関心と、厳重な保管を、特にお願いいたします。

植物班が松芋山頂、峰の北五葉松をはじめ町内の自然植生を調べています。

動物、水質、気象班も活躍し、歴史各班も黙々と活動しています。

先日、地形地質の町民講座は好評を得ました。九月は文化財調査の中間報告を行います。

パート2
非行
 何が彼らを
 そうさせるか
問い直される親子関係 ③

内向化する遊び

「今度の日曜日、なにをするのが楽しみ？」
 「もち！ テレビ・ゲーム」
 「誕生日には何を買ってもらおうの？」
 「ゲームソフト」

ある中学生との会話です。

テレビ・ゲームの販売台数は600万台とも700万台ともいわれ、小学生はいうに及ばず中・高生から青年の間でも、持っていない子のほうが少ないのではないかといわれるほどです。ソフトの二つや三つこなせないと友だちの間で浮き上がってしまい、仲間に入れてもらえない……といった流行の遊びにのりおくれまいという心理が“普及”に拍車をかけているようです。

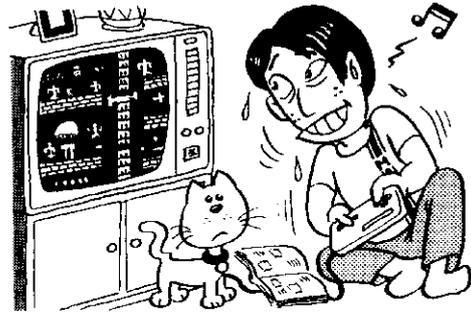
テレビ・ゲームについての考え方には賛否両論いろいろあるようですが、それはともかく、特徴として言えることは、たいへん内向的な独り遊びだということです。機械を相手に自分のカラに閉じこもる——しかも、やり始めると1時間や2時間はすぐにたってしまう。これが、たとえば30分なら30分と時間を決めてそのとおりに打ち切ることができるのなら問題はないのですが、夜中の1時、2時までも続けてしまう。自己コントロールがまだ十分にできない、統制力が身につけていない年齢ということもあって、それは無理なことかもしれませんが…。

■人間関係からの逃避の場に……

中学生の心の成長にとって大切なのは、言うまでもなく友だちです。人間関係のネットワークの中で精神的な“養分”を得て、血となり肉となっていくのです。もちろん楽しいことばかりではありません。友人の何気ないひと言がグサリと胸にささって、いつまでも痛んだり、自尊心を傷つけられたり、ケンカしたり……それはいろいろあるはず。かといって、こうした悩みから逃げていたのでは、自分を

取り巻く状況は変わりません。果たして、テレビ・ゲームが、わずらわしい人間関係からの逃避の場になってはいないでしょうか。テレビ・ゲームが逃避を“助長”しているようなことはないでしょうか。やっとな自分の思いどおりになる相手を見つけた——と。

集団参加の方向とはほど遠い行為として一人で画面に向かう……コミュニケーションというものが皆



無なわけ。読書も一人で取り組むものですが、こちらは執筆者との心の交流があります。この点が根本的に違うところ。深く自己を省みる——内向より内省を心がけたいものです。人はさしあたり何もすることがなくなったとき、さて自分は何をしたいのか、何をすべきかを主体的に考えるものです。時間があればテレビ・ゲームでは、目先の刺激に引きずられて自己を省みるゆとりはありません。

■友人からの悪影響を恐れ“消極的認知”する親

親にしてみれば、別にいいとは思っていないものの、外に出かけて何をやっているかも分からず、いつ帰ってくるのか分からないのより、目の届くところにいてくれるほうが安心、という気持ちがあるようです。友だちから好ましくない感化を受けたり、非行に向かったりするより、まだテレビ・ゲームのほうがマシだ、と。“消極的認知”とでもいうのでしょうか。

ところで、酒は飲んでも飲まれるな、という言葉がありますが、テレビ・ゲームにも同じことが言える面があると思いますが、いかがお考えですか。

岩佐壽夫

家庭ケースワーク研究所所長

東京都世田谷区教育委員会生活指導相談員

戸籍の窓口

七月受付分

幸せ多い人生を(結婚)

市川健司・萬羽京子
 (田澤・宮之下)

げんきなよい子に(出生)

井上貴雄 父政身・母久美子
 (長男・寺田・林)

関谷宣宏 父俊雄・母里恵子
 (長男・松代・新善)

関谷健太 父友美 母松美
 (長男・松代・じせん)

ご冥福を祈ります(死亡)

若井利作 72歳 蓬平 利八

若月タミ 79歳 海老 杉原

牧田清一 75歳 峠 石原

樋口巳子吉 93歳 松代 金原

武田熊藏 68歳 名平 かみ

柳ギン 77歳 松代 中屋

柳質郎 77歳 菅刈ますだや

停電のお知らせ

9月11日(木)

午前9時～正午まで

福田道路(南部線入口)から
 クラブ麻衣(駅前通沿線)まで

“守ろう 大切な生命 考えよう みんなの救急”

9月9日 「救急の日」
9月9～15日
「救急医療週間」

救急医療及び救急業務に対する住民の正しい理解と認識を深め、かつ救急医療関係者の意識の高揚を図るため「救急の日」及び「救急医療週間」が制定され4年になります。

救急車の利用は、毎年増加しており、昭和60年中には、松代分遣所管内で132件出動し、124人の方々を搬送して、救急車は、住民にとって欠かせないものとなっています。

そこで今回は、「救急の日」に伴い“救急車の正しい利用”について、載せました。

1. 救急事故に出合ったとき

早い通報、適切な処置は救急事故の場合生命に大きく左右します。救急事故に出合ったときは、次のことを観察して通報内容に加えて下さい。

- ①キズがあるか、出血があるか
- ②意識があるか
- ③吐気(はきけ)があるか
- ④呼吸があるか、脈があるか
- ⑤骨折があるか
- ⑥やけどがあるか

2. 救急隊が到着するまでに行うべき処置

- ①傷病者に対して応急手当を行うこと
- ②かかりつけの病院が近くにあれば電話連絡をしておくこと
- ③救急車のサイレンが聞えたらできるだけ案内する人を出し誘導すること

3. 現場に到着した救急隊員に話すべき内容

- ①救急隊が着くまでの傷病者の状態
- ②どうしてケガをしたか、病気でたおれたとき何をしていたか
- ③救急隊が着くまで行なった応急手当の内容
- ④持病があれば、その病名
- ⑤かかりつけの病院名と主治医

松代分遣所では“いざという時の応急手当”の為に、いつでも救急法の講習会を受付けています。 ☎7-2310へ



無料人権相談所の開設案内

人権侵害・土地・建物・相続・損害賠償、その他の法律問題でお困りの方の相談に応じます。

秘密は絶対に守られますから、気軽にお出でください。



とき 9月17日 午前10時から
午後3時まで

ところ 松代町大字松代

松代町総合センター

主催 上越人権擁護委員協議会

新潟地方法務局上越支局

東頸城郡松代町

税の豆知識

お年寄りや障害者と税

お年寄りや心身に障害がある

方(障害者手帳を持っている人)に対しては、財政支出の面で社会保障を充実する一方、税金の面でもいろいろな特典が設けられております。

特典のあらましを説明しましょう。

一、お年寄り本人が受けられる特典

年齢が六十五歳以上で、所得金額が一〇〇万円以下のお年寄りの場合は、本人の所得税を計算するとき、次の控除を受けることができます。

(一) 老年者控除

基礎控除や扶養控除などと同じように、老年者控除

として二五万円を所得金額から差し引くことができます。

(二) 老年者年金特別控除

国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給の収入金額の合計額から老年者年金特別控除として、七八万円を差し引くことができます。

二、お年寄りを扶養している方が受けられる特典

配偶者控除や扶養控除の対象となる親族が、七〇歳以上のお年寄り(障害者の場合を除く)で所得金額が一定額以下のときは、一人当たり三三万円の扶養控除に六万円を加算した、三九万円を差し引くことができます。

なお、このお年寄りが納税者の直系尊属で、同居を常況として

いるときは、更に七万円を加算した四六万円を差し引くことができます。

三、障害者手帳を持っている心身障害者本人が受けられる特典

(一) 所得税の障害者控除

納税者本人が心身障害者のときは、障害者控除として二五万円(特別障害者は三三万円)を所得金額から差し引くことができます。

(二) 相続税の障害者控除

相続人が心身障害者のときは七〇歳に達するまでの年数一年につき三万円(特別障害者のときは六万円)を障害者控除として相続税額から差し引くことができます。詳しくは役場税務課へお尋ねください。



しぶみ句会

夏座敷水車の見ゆる窓辺よし
初もぎの茄子の紫手のひらに

悠歩

乗鞍の這い松かすむ返り梅雨
老妻と新茶の味や五十年

炳史

アカシヤの雨

野石 ロマン

蛙鳴く夜は風さえも生ぬるく若
かりし日の未練くすぐる

岩見堂の海見はるかす崖の上吹
き上ぐる風若葉を返す

アカシヤの匂い著けきこの夕べ
乾き切りたる土に雨降る

虫眼鏡にて見むほどのわが短歌
の新聞紙上に載るが楽しみ

濡るるほどの雨にはあらず草の
葉の上すれすれに飛び回る蝶

ようやくに梅雨明けけるらし雲切
れて窓辺に近くかなかなの鳴く

草深き山の牛舎を訪ぬれば猫と
ちやばとが寄りて迎えり

長き梅雨何時上るやら草のびて
東の間の晴れて嬉しや草を引く

しげ女

微の香のそこはかとなき宮の鈴
梅雨晴れの夫婦寿ぐ祝い酒

六花

蒲生句会

汗を拭く眼鏡の邪魔な夏来たる
盗み酒持てば湿気虫驚かす

耕人

旅疲れ坐り帯解く梅雨最中
海老の足動く祝いの夏料理

ふさ女

新じがの器量賞めつつ籠に盛る
隣家の娘の声やすだれ越し

紫煙

今座まる蜻蛉見ており西陽中
なつかしき下駄の音して夏の宵

月日

城の峰葉裏を返す夏木立
湧水を山腹で汲む遊歩道

折人

立葵六尺伸びて束ねけり
ゲートボール止み蜩の宮の杜

鐵堂

庭目を背中に印し昼寝する
螢火に詮なき記憶甦える

耕山

螢とぶ己が軌跡を己れ消し
終戦日遠し彼の日の草いきれ

龍峰

園芸一口メモ

松代園芸愛好会

草物盆栽の鉢について

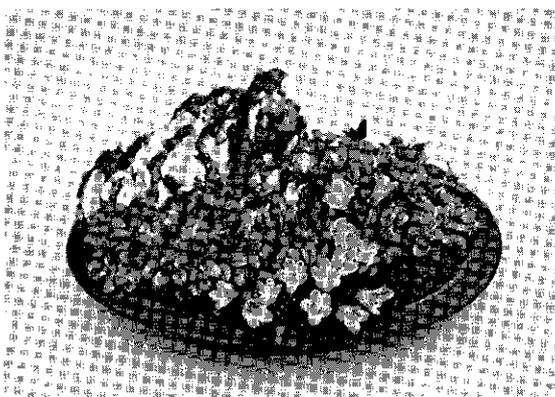
ひと口に鉢といっても、その種類や形態は多種多様です。このようにいろいろな鉢があるという事は、私たち日本人が心から植物を愛し、その植物を最高の姿で鑑賞するためにどれほど心を配ってきたかを物語っているとともに、日本人の趣味性の豊かさや深さを如実に示しているといえます。

(2) 鑑賞鉢

素焼鉢は仕立鉢とも呼ばれているように、植物の実生や挿し芽、株分けしたものなどを一人前に仕立てるために用いられる。ですから、その形も単純で、深鉢と浅鉢との二種類があるだけです。

(1) 素焼鉢

草木を引き立てて、双方が渾然一体となって自然の美しさを表現するそういった鉢を選び出すことも、盆栽作りの楽しさの一つです。



シャコタンギキョウ

お詫びと訂正

「おしらせひろば」第四十号の、国保情報で限度額は十六万円とあるのは、一世帯平均十六万円(昨年度より三十三%増)の誤まりでした。お詫びして訂正いたします。

なお、今年度の国民健康保険税の課税限度額は三十七万円です。